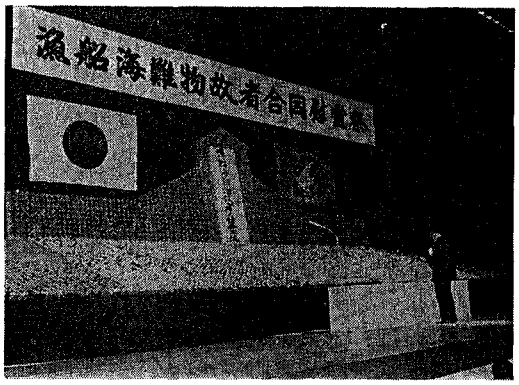
# 漁船海難物故者合同慰霊祭開催

## "遺影を胸に　涙する乙女"

八月十九日、県下四海区遺族参列者約四百名、坂井兵庫県知事をはじめ来賓約五十名、一般参席者五百名のもとで、漁船海難物故者合同慰霊祭を明石市民会館にて開催、三百有余柱の御霊に対し心からなる哀悼のまことを捧げた。

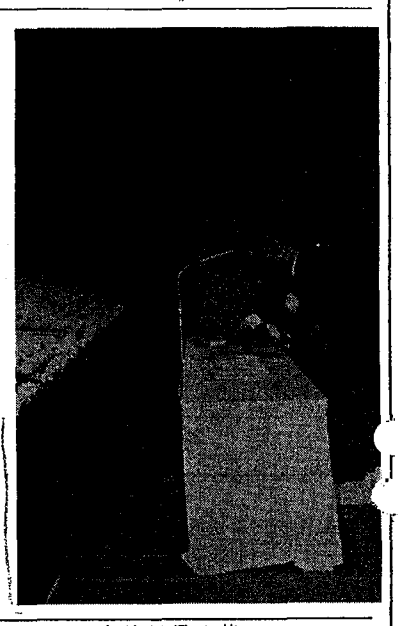



午前十時三〇分、河村執行委員長の「開式の辞」にて荘厳ななかで開式。

招魂のことばとともに、場内消灯。武庫川女子大学音楽部による奉唱がなされ、全員起立にて三百七十九柱のみたまを迎えた。一分間の黙禱の後、着席、そして、詰襟姿の遺族代表魚谷勝君（明石浦漁協）が奉安箱に奉納された霊位を祭壇に安置。ついで、主催者代表である山田岸松県漁連会長が「みたまの安らかに眠られんことを祈り、戦後における本県水産業の復興発展と食糧増産に貢献され、尊い礎となられた数多くの物故者の遺業に対し、我々はその遺志を受け継ぎ、協同組合理念に立脚し、団結を固め水産業の発展向上と漁業生産増強に精進する。」ことを誓って追悼の言葉とした。つづいてみたまに捧げる言葉を、坂井知事、大野県議会議長、衣笠明石市長、勝目第五管区海上保安本部長、及川全漁連会長、宮原中央漁業操業安全協会会長が行った。

式場前列に参列した遺族のなかには、ありし日の夫の雄姿を思い、或いは、幼な心に思うやさしく力強かった父の面影が、愛していきれない会場整理員も見受けられた。

最後に、遺族を代表して藤原実さん（香住漁協）が「このたびの慰霊祭を心のかでしめやかに献花が順次おこなわれた。まず、各海区遺族代表四名が献花台へ進み、つづいて、来賓、主催者、遺族、一般参列者へと献花が進んだ。神戸市消防音楽隊の奏楽のなかで、「閉式の辞」にて、滞りなくすべての祭事を終了した。



## 兵庫県漁港協会
## 第24回通常総会ならびに
## 第17回兵庫県漁港大会開かる
### —山口県湯田温泉—

去る八月二十七日から二十九日までの三日間、山口県湯田温泉で兵庫県漁港協会の本年度総会ならびに大会が盛大に開かれた。

これは毎年恒例により他府県の漁港視察を兼ねて開催されるもので、参加者は百名を超え活発な審議と水産業の基盤となる漁港に関して種々の問題が討議された。

とくに漁港は漁業生産の基盤であり、流通の拠点であるばかりでなく漁業者の生活安定に直結するためその整備は急務であるが、最近の財政逼迫の折柄、水産業界としても今後国ならびに県に対し予算措置等について強く要望していくことが決議された。以下概要をお知らせする。

総会・大会の第一日目（八月二十七日）は午後三時から総会に始まり恒例の予算決算、事業計画等滞りなく承認され、同四時三十分から引き続き大会に入った。

大会は力強い大会宣言を皮切りに次の議題が順次提案され、最後に別掲のとおり特定第三種漁港に引き上げの件

第三号議案
第三種漁港の国庫負担率の引き上げに関する件

第四号議案
漁港環境整備に対する施策の強化に関する件

第五号議案
離島における漁港の整備促進に関する件

第六号議案
漁港整備事業に対する地方債の枠の増額の件

第七号議案
県の漁港整備事業に対する施策の強化に関する件

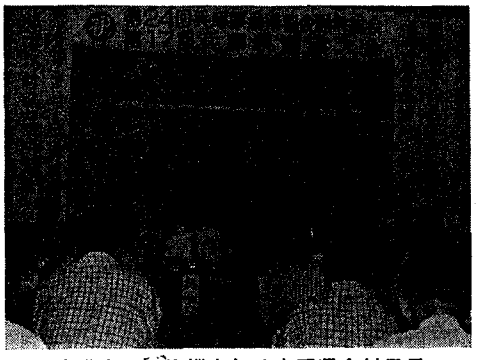
(1) 漁港課の新設
(2) 漁港整備の促進と漁港整備事業に対する予算の増額確保について
(3) 漁港の統合について

第二日目（八月二十八日）は本大会の重要な目的の一つである「漁港視察」を行った。全員バスにより山口県の第三種漁港に指定されている萩漁港と仙崎漁港を順にみて回ったが現地では山口県の西村工務課長及び地元組合長から詳しい現況説明を受けた後、御案内によりつぶさに漁港及び施設を視察した。

この漁港はいづれも日本海側に面する県営漁港で、利用漁船はどちらも約七百八十隻に達し、対象漁業は小型底曳、まき網、棒受、沖合底曳等が主体となっている。とくに仙崎漁港は製氷、貯氷、冷蔵の施設が完備されており、特色としてここに訪れる観光客は年々増加し、売店その他観光客の受入れサービスに色々と策を練られ、これは視察者一同非常に参考になった。

以上概要をお知らせしたが、詳細を知りたい方は兵庫県漁港協会（県水産課内）まで連絡されたい。

（横尾）


漁港大会で挨拶される吉岡県食料局長

## ピョートル大帝湾南方
## 警戒水域について

兵庫県沖合いかつり漁業協会では標記について別記のとおり各いかつり組合を通じ周知を計っており、特に同水域附近に出漁する船は充分留意されるよう同協会では望んでいる。

記

豆満口河口とパパロートヌイ岬を結ぶピョートル大帝湾を内水域とし、その湾口線の外側十二浬はソ連の主張する領海であることはご存じのとおりでありますが、近時ソ連警備艇が同湾南方海域出漁船に対し、湾口線の南（外側）十二浬（領海）の外側八浬（湾口線から十二浬、二十浬の間を警戒水域）以南の海域を行動するよう警告した事実があると共に当協会所属の一部漁船においても警戒水域に接近して操業している実情にかんがみ常に自船位を確認充分注意して操業されるよう貴組合所属船に周知下さるよう通知いたします。

## 漁協職員研修会開催さる

8月27～28日大阪、なにわ会館で近畿ブロック漁協職員研修会が開かれた。日本の沿岸漁業の現状と今後の方向、漁協事業分析と経営の計画をわかりやすく説明。出席者らは、熱心に聞き入り質疑についてとりくみ、漁協経営の将来についてよく理解された。本県は女性職員を含め三十八名の参加者で出席者の40%をしめた。

## 決議

我が国の水産業は、国際漁場における漁業規制の強化、公害による漁場の荒廃、更に油による直接間接の被害続発また石油ショック以来の燃料、諸資材の高騰等未だかつてない苦境に立たされている。しかしながら水産物に対する国民的需要は益々増大し、動物性蛋白食料として欠くことの出来ない水産物を確保することは、水産業の担う重大な社会的使命であり、水産業の積極的な振興は、我が国の食糧自給率のアップが叫ばれている現在特に緊急な要事である。

しかるに、その基盤である漁港施設の整備は、甚だ立遅れており我々漁港関係者が長年にわたり要望し続けて来た画期的な規模をもって策定された第五次漁港整備計画も、国の総需要抑制策により第三年目を迎えた現在でも未だ計画の三割程度の進捗率を示しているのに過ぎない。このことはまことに遺憾に堪えないところである。

政府並びに県におかれては、水産業を食糧生産の基幹産業としての位置づけを明確にして、水産業の基盤であり、加工流通の拠点であるばかりでなく、漁業者の生活安定に直結する重要施設である漁港の整備拡充を重要施策の一つとして強力に推し進め、漁業生産の拡大と漁業経営の伸展に資するよう、下記事項の実現を大会の名において強く要望することを決議する。

記

本文参照

昭和五〇年八月二七日

第一七回兵庫県漁港大会

拓水
9月号
No. 228
発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区中ノ島2の2の1
発行人　兵庫県漁業協同組合連合会
会長理事　山田岸松
TEL 681-6954～7
一部　10円

# 漁連合併への第一歩

## まづは他県の視察

### 県漁連幹部→長崎・山口県漁連
### 県漁婦連幹部→三重県漁連

県漁連・内海漁連・但馬漁連の合併は本年度本県水産業界あげての重大目標であり、すでに第一回兵庫県漁協等合併推進協議会（会長・山田県漁連会長）も開かれ財務・組織の2部会並びに上部団体幹部による専門委員会も設置、本年度内合併完遂を目指してはなばなしくスタートが切られた。このほどその一環として、まづは他県の優秀な漁連を視察して知識を得るため、県漁連幹部は長崎県、山口県、県漁婦連幹部は三重県の夫々の漁連を訪問しその概要は次のとおりである。

**長崎県漁連**
視察月日
昭和五十年八月二六日
参加者
西上重弐、小林政太郎、森吉一、丸一晴美、浜本一三、松井重明、安達吉造（以上当協議会委員）作花英治、林一成（当協議会専門委）
吉野武司（県水産課）

「海岸線で三七〇〇粁と全国最長を誇る長崎県では離島が多く、インフレ不況、操業公害等々多くの問題点をかかえ単協だけの力では経営が困難となり近年では漁連が大きくロクーズアップされている。状況の中、幾多の問題を繰越すことなく、経済事業活動を通じて「人間尊重の公正にして豊かな社会を建設する」協同運動の展開を基調として今後の事業運営を行っている。基本姿勢は①自主独立の主体性を確立し、共存同の組織運営栄を確立する。③協同運動理念にもとづく、会員主体の事業活動を展開し指導補完機能の役割を果す③経営至上主義を厳しみ、協同運動の成果として、経済事業の組織金利用を推進し会員負担軽減のための経営合理化に徹する。」と中村専務等から説明を受けた。

**山口漁連**
視察月日
昭和五十年八月二六日
参加者（長崎漁連と同様）

山口県は、日本海性漁業と内海性漁業の双方を兼ね当県とやや似かよった点を備えている。

ここでは、木村専務他担当者から説明を受けた。

「激動する諸情勢の中、県下漁協系統のリーダーたる組織体としての責務の重大さを今こそ再認識し、漁協系統一体化運動を主軸として新しい局面に対処する。基本方針として漁場環境保全対策、魚価安定対策等5つを前面に押し出し事業を運営している。」等の説明あった。

両漁連視察により、いまさらながらに協同運動の重要性を痛感し、当県漁連合併の大きな役助となった。

**三重県漁連**
視察月日昭和五十年八月七日
参加者
浜戸良恵、大西みさえ、来田てる子、山本美智子、吉川きよ子、稲垣道子、桐原一枝、津田綾子、丸谷政子（漁婦連）荻野組合指導係長杉本普及係長（県水産課）寺尾美枝子（県漁連）

近鉄津駅から歩いて五分位のところ―近代的なしようしやなビルがある。これが三重県水産会館である。

この会館の中に同県漁連を始め殆んどの水産団体の事務局が入っており日夜三重県の水産振興のために励んでおられる。

婦人部幹部の一行はエレベーターで三階にある県漁連の立派な応接室に案内され、ここで約二時間、宮原会長、中北常務から三重県水産業の現状と同県漁連の活動状況をつぶさにお聞きした。とくに宮原会長の熱のあるお話しには一同感服し、「なる程県漁連は一本でなければならない」ことを痛感させられた。宮原会長は漁連の活動を活発に、しかも漁民から親しまれる漁連になるために次の二点をモットーとしておられることを強調されていた。

一、漁連は漁村の防波堤であること。

二、漁連は経済的実力を持たなければならないこと。

つねにこの意識で職員も一体となってキメの細かい指導と事業の実施をしておられるとお聞きし、訪問者一同はうらやましい気さえした次第である。

# 淡路地区漁協共済推進会議開かれる

盛夏の候、八月七日、洲本市炬口淡路水産センターを会場として、淡路地区漁協組合長、参事、その他共済担当職員等およそ五十名の方々の参集を得て標記会議を盛大に開催いたしました。

当日は前夜来の大雨で予定どおりのご出席が得られるか懸念されましたが、欠席者も殆んどなく、又兵庫県洲本農林事務所徳力副所長、淡路水交会坂口会長、県水産課組合指導係塩田主査のご臨席を賜りました。

西上組合長の挨拶のあと岸県漁業共済組合専務兼全水共兵庫県事務所長から漁協共済の現況と将来について話があり、ひきつづき、共済組合担当職員から漁業共済義務加入のしくみ、新しいチョコー、自動車共済についての詳しい説明が行われ、活発な質問や意見の交換がなされました。

このあと昭和五十年度漁協共済推進計画案について説明があり

淡路地区で漁業、養殖共済で十億四千六百万円、チョコーで満期共済金額、二億三千四百万円を達成目標額として努力することが決定され、最後に県漁業共済樫本実副組合長の感謝のことばにより閉会しました。

# 船員労働安全衛生月間運動における巡回訪船指導について

概記について神戸海運局船員労務官による巡回訪船指導を、左記日程によって実施することとなりましたので、当日各港に帰港する船舶は船長、又はそれに代る責任者が在船願い進んで指導を受けられ、今後の炎害防止に役立てていただくよう連絡いたします。（但馬地区に限る）

記

一、A組　九月十七日、十八日（豊岡市、城崎郡）
一、B組　九月二十五日、二十六日（美方郡）
一、巡回予定者（敬称略）
先任労務官樋口一心、船員労務官浅田武男、厚生課二係長黒籔武（以上A組）船員労務官吉田周次、同近藤昭、厚生課長中野[illegible]（以上B組）
一、船員無料健康相談所開設九月十八日香住町漁協において行いますので、船員各位のご利用お願いします。

なお訪船日程その他詳細については、各組合又は但馬漁連にお問い合わせ願えればおこたえいたします。

# 新関西空港

## 航空審議会の答申で泉南沖に決る

大阪国際空港のみでは関西地区における航空輸送需要の増加に対処することができず新しい空港を建設する必要があるという理由に基づき、新しい空港わけても公害のない空港の建設について検討されてきた、結果当初新しい空港の候補地を泉州沖、神戸沖、播磨灘及び淡路島の4ケ所と想定したが色々と検討の結果いづれの候補地もそれなりの特徴があり適地と考えられた中でも泉州沖の海上が最も望ましいと判断され今度の運輸省航空局、航空審議会の答申がなされた。

答申資料によれば、県下大阪湾に於ける漁業操業の実態が充分把握されないままの答申がなされたように判断される。よって関係沿岸各漁協が関西より空港対策委員会が結成された、漁業者が納得出来る充分な調査がなされるとともに漁業対策に万全を期するよう県、国に強く要請する旨決議を行った。

# 海中転落事故の防止について

## 船員災害防止指導

別掲の船員労働安全衛生月間における運動の重点項目として標記について訪船指導により強力に推進することとなり運輸省船員局労働基準課長より持に関係先に対し次の如く通達が行われましたのでご連絡申し上げますから各船舶所有者をはじめ乗組員に対し周知徹底方よろしくお願いします

**一、環境管理関係**

㈠ 船外との通行はげん梯または手すりと踏さんのある歩み板を設けて通行すること。安全な角度を保てる長さで丈夫な構造のものとし、又歩み板以外の安全な通行設備による場合は設けなくてもよい。

㈡ 夜間安全に通行できるよう照明を行なうこと。

㈢ 転落のおそれのある開口部（スリップウエイ、魚とり込みげん門等）は使わない場合は扉、チェーン、安全ネット、仕切板等で閉鎖すること。

㈣ 積荷、漁具等を甲板上に積むときは安全な通路の確保について船員労働安全規則（以下労安則）第十九条第二項に定める事項を励行すること。

㈤ 甲板上は整理整頓しつまづき、滑るようなものを散乱させないこと持に水油氷血のりうろこ等によってすべりやすいときは適宜清掃し要すれば機を打ち、マットを敷く等スリップを防止する方法をとること。

**二、行動管理関係**

㈠ 作業に従事するときは命綱、救命胴衣、作業用救命衣を使うこと持に漁船では航行中風力四以上（五、五―八メートル）になると船体の動揺で海中転落が増加する傾向があるから甲板上で作業の場合はこれを着用を心がけること

㈡ 漁具及び索具を巻きこみ又は繰り出しているときはこれにふれたりまたがったりしないこと、またこれのふれ回りにより危害を受けるおそれのあるときはその範囲内に立ち入らないことこの場合危険な範囲をペイント等で表示することも効果的である。

㈢ 作業方法を安全面から再チェックし定められた作業方法を徹底すること。

㈣ 号令、合図を定め、指揮者の号令、合図に従い必らず応答、確認のうえ実施すること。

㈤ 走行中の漁具、索具がからんだりもつれたりした場合は装置が停止した安全な状態となったことを確認の上直すこと

㈥ 気象、海象等によっては必要に応じ看視員を配置し波浪の打ちこみ、船体の大きな動揺等作業に危険がある状態について警告をすること

㈦ 夜間荒天時に転落のおそれのある作業を行なうときは経験者を含め二人以上で行わせ持場ごとに責任者を置くこと

㈧ 上甲板に波浪が打ち込むような荒天時は貨物の固縛作業等やむを得ない作業は行わないこと。

㈨ 甲便は必らず船内便所で行うこと持に飲酒時のげん側における用便は厳禁すること又便所は清潔にしておくこと。

**三、救助関係**

㈠ 救命用具等は常に点検し直ちに投下、使用できるように用意しておくこと持に転落のおそれある時はその付近に一括して用意のこと。

㈡ 救助訓練を定期的に行い連絡、通報、救命用具の投下、操船等救助活動になれるようつとめることなお長期間出漁する漁船等は出港前及び出港後なるべく早い機会に救助訓練を実施すること。

**関西国際空港（泉州沖）航空審議会答申概要**

| 事項 | 概要 | 備考 |
|---|---|---|
| 位置及面積 | 泉州沖海5㎞　1,100～1,160ha（3,300千坪～3,500千坪） | 資料 |
| 埋立 | 土砂必要量　5億4,000万㎥　85隻／日　プッシャーパージ船で海送<br>年間　1億㎥<br>工法＝護岸先行　海水汚等防止、土砂海送距離25㎞　他はコンベヤー等陸送 | 神戸市高倉山10年間0.8億㎥ |
| 海洋 | 潮流、拡散、変化なし　下水処理（三次処理＝再利用） | 資料 |
| 海上交通 | アクセス交通＝ホーバークラフト　8％　阪神　東播（3,000千人～5,000千人）<br>船舶航行＝主航路から離れており若干の小型船のみ迂回が必要<br>避泊海域＝45～50隻播磨灘で対応<br>航空燃油＝3,000～5,000D＼W　タンカ3～4隻／日で供給 | |
| 水産業 | 漁場減少　1～2％<br>水産資源＝広域的には変化はない<br>漁業生産＝影響予測困難…今後の調査　＞潮流の変化なし<br>兵庫県の大阪湾における生産（46年）　24,600㌧　17億5,000万円<br>泉州沖空港の関係地域＝大阪市以南岬町までの8市4町のみ | |

燃料報国
一滴の燃料を生かす確かな技術
余裕の出力、曳き力抜群！
●船舶主機用3.0～1800馬力●
●船舶補機用3.5～2900馬力●
ヤンマーディーゼル
船舶主機
3M15R形
〈15PS/1400rpm〉
●詳しいカタログをお送りします〈本社・宣伝部〉まで。
ヤンマーディーゼル株式会社
〈本社〉大阪市北区茶屋町62〈〒530〉TEL(06)372－1111(代)
〈支店〉札幌・東京・名古屋・大阪・高松・広島・福岡

# マダイ稚魚の標識放流調査

## 標識魚の再捕報告についてお願い

昭和50年8月

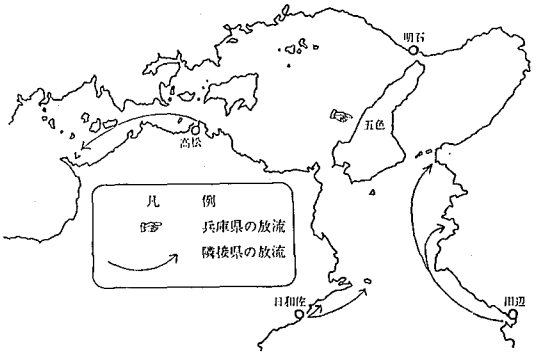
〒673　明石市中崎1丁目6－8
兵庫県立水産試験場

瀬戸内海栽培漁業事業の一環として、水産庁・栽培漁業協会および南西海区ブロック10水産試験場の協同研究により、マダイ稚魚の標識放流試験を実施します。兵庫県では東部海域を調査するため、同海域グループの諸府県と協定の上、下図の指示地点に7月25日と8月12日に計58,000尾を放流しました。

標識のついたマダイを捕獲された漁業者。遊漁者のかたは、お手数ですが魚体から取りはずした標識を添えて、右記の事項についておしらせくださいますようお願いします。

**東部海域標識一覧**

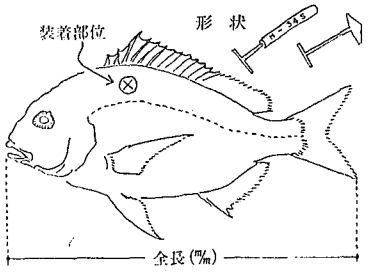
| 機関名 | 色別 | 記号 |
|---|---|---|
| 兵庫水試 | 赤 | H |
| 香川〃 | 青 | KA |
| 徳島〃 | 黄 | TO |
| 和歌山〃 | 白 | WK |




**おしらせ頂きたい事項**

1. 郵便番号・住所・氏名・職業
2. 捕獲の日時（年月日・時刻）・場所・方法（漁具）
3. 魚の大きさ（全長と、できれば体重も）、標識取付部分のキズの状態について。

備考　① 用紙・書式は自由です。用紙の片隅に標識をセロハンテープなどでとめてください。
② 折返えし送料（切手）と粗品をお送りします。




注意：－兵庫県以外の放流魚でも、該当県へ取次ぎますから、兵庫県下で漁獲された方は一旦当場へおしらせください。

# 昭和五十年度（第十九回）船員労働安全衛生月間実施要綱発表される

運輸省船員局より本年の月間の実施についてその要綱等が発表された。概要は次のとおりとなっている。

一、**趣旨**＝本年度は第二次船員災害防止基本計画の第三年度目にあたり、基本計画の実施を確保する重要な時期である。最近における災害の発生率は関係者の努力により減少してきているが未だ高率で決して満足すべきものではない。そのため不注意が災害につながらないよう環境設備の安全化をより徹底させるとともに災害防止意識高握につき関係者の一層の努力が要請される。本年度の月間においては、昭和五十年度船員災害防止実施計画において主要な対策として取り上げられた㈠船内環境の安全衛生化㈡作業の安全化㈢安全衛生管理体制の確立㈣安全衛生教育の徹底㈤健康管理対策の推進に関してその実施状況に反省と点検を行い、フールプルーフ的観点に立った積極策の徹底につき、各船舶所有者が卒先して集中的、効果的な運動を展開するものとする。関係行政機関、船員災害防止協会、船主団体、労働組合等は各船舶所有者が行う活動に指導援助を行うことにより本月間運動をより一層効果的なものとする。

二、**スローガン**＝船内環境を点検し、みんなで進めよう災害の防止を！

三、**実施期間**＝昭和五十年九月一日～九月三十日

四、**主唱者**＝運輸省、労働省、社会保険庁、水産庁

五、**協賛者**＝船員災害防止協会、各地方船員労働安全衛生協議会

六、**協力者**＝関係行政機関地方自治体、全漁連他業種別団体、海事関係新聞社、造船工業会、船主協会、旅客船協会、海運組合、海員組合等

七、**実施者**＝各船舶所有者

八、**主唱者、協賛者、協力者の実施事項**＝㈠ポスター垂幕、報道機関等による広報㈡安全衛生に関する標語体験記、意見の募集㈢船員災害防止大会、安全衛生に関する講演会、講習会、懇談会、保護具・検知器具の展示会等の開催㈣船員労働安全衛生功績者の表彰㈤安全衛生指導班による訪船指導㈥船員無料健康相談所の開設㈦船員の体力診断の実施㈧船舶所有者が実施する事項についての指導援助

九、**船舶所有者が実施する事項**＝イ、安全衛生管理組織の点検整備ロ、垂幕、横幕、立看板等の作成と掲握ハ、企業内船員災害防止計画実施状況の点検ニ、安全衛生自己診断の実施ホ、安全衛生に関する企業内表彰、経営首脳部、安全衛生管理責任者等による訪船指導、船舶からの改善提案の募集等船員の安全意識の高揚のための効果的措置の実施へ、大会、講演会、懇談会への積極参加、又船舶においては一、緑十字旗の掲揚、ポスター、標語等の掲示二、各担当者バッヂの着用とその業務の確認三、チェックリストによる点検整備四、救命、消防設備の点検整備訓練の実施五、船間環境の改善、検討と今後の安全衛生についての打合せ六、各種大会に積極参加をそれぞれ適宜実施する。なお神戸海運局船員労務官を招き訪船指導（但馬地区漁船に限る）と船員の健康診断を期間中適当な時期に実施を計画している（神戸海運局船員災害防止指導員柴田富夫）

# 海洋汚染防止活動事業

## 昭和四十九年度事業報告まとまる

海上保安協会が財団法人日本船舶振興会の補助事業として実施している「海洋汚染防止活動」事業は、昭和四十七年度から開始以来、年毎に実績を挙げているがこの程同協会より四十九年度の事業報告書が発表された。その概要は次のとおり。（海上保安新聞より）

◈六五六人の海洋汚染防止推進員を一地方本部（沖縄）および八三支部に配置して、海洋汚染を発見した場合、海上保安部署への通報と海洋汚染の防止に関する啓もう活動を所轄海上保安部署の指導により実施した。（香住支部は三名）

◈海洋汚染発見に関する報告件数は二、九〇〇件で推進員一人当り四、三件である。（別記報告件数表参照）月別では海上が平穏で赤潮発生の多い五月－八月の間が多くなっている。

◈汚染の種類と排出源

①油による汚染＝一、〇六三件（三七％）地域的には広島、関東、門司各地方本部・支部では横浜、名古屋福山等が多い。排出源は船舶四二八件（四〇％）、不明四九七件（四七％）、陸上一三八件（一三％）で不明の中には船舶から排出のものが多数含まれる。

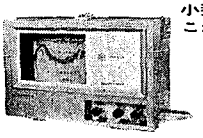
◈油以外による汚染＝一八三七件で六七％を占める。報告件数の多い地域は件数表と同じである。汚染の種類はゴミ、赤潮、工場排水、流木、木皮、ふん尿等多種多様である。排出源は陸上五二一件（二八％）、不明一、二五八件（六九％）船舶五八件（三％）であるが不明の中には陸上投棄のものが多い。

◈通報にもとづく措置＝推進員の通報により所轄海上保安部署で実施した措置は、本事業の成果を評価する主要素である。通報にもとづいてとられた措置は、捜査、防除、警告、指導、地方公共団体への通知等であり、件数は五一〇件となっている。（一件の通報で二種類以上の措置実施もある。）

◈啓もう活動＝各種集会でのPR印刷物の配布、立看板の設置、廃油等の集積所の設置、海浜清掃等が実施された。（別記海洋汚染防止推進員連絡会議記事参照）（海上保安協会香住支部）

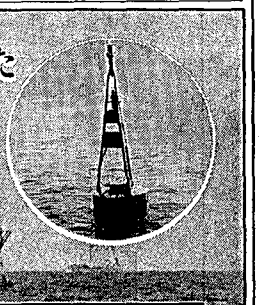
**地方本部別（管区）報告件数**

| 地方本部（管区） | 件数 | 配員数 | 1人当り件数 |
|---|---|---|---|
| 北海道（1） | 99 | 39 | 2.54 |
| 東北（2） | 145 | 45 | 3.22 |
| 関東（3） | 427 | 99 | 4.31 |
| 東海（4） | 321 | 69 | 4.65 |
| 神戸（5） | 232 | 83 | 2.80 |
| 広島（6） | 1,133 | 131 | 8.65 |
| 門司（7） | 334 | 84 | 3.98 |
| 舞鶴（8） | 58 | 33 | 1.76 |
| 新潟（9） | 30 | 24 | 1.25 |
| 南九州（10） | 69 | 27 | 2.56 |
| 沖縄（11） | 25 | 21 | 2.48 |
| （計） | （2,900） | （655） | （4.43） |

海上電機が皆様に贈る新製品
小型漁船からレジャボートに友達が一人増えました
これからの海に是非お供させて下さい
フイッシュパイロット
Z－1・マークII
中型、大型も各種取揃えています

海上電機株式会社
神戸市生田区明石町32　電話 391－4301

安全のシンボル
丸山の消火器
日本小型船舶検査機構
合格品
火事だ!!
強力スピード消火のコンパクトタイプ
ぜひ あなたの船に おそなえ下さい。

小型舶船用粉末消火器AH-4U
発売元
丸山商事株式会社
本社　東京都千代田区内神田3～4～15（丸山ビル）
東京　252－2271（大代表）　252－4783（直通）
九州支店　広島営業所　名古屋営業所
製造元
株式会社 丸山製作所
大阪支店・大阪府茨木市玉島1～20～12
電話（0726）26－0741
東北営業所　宮崎出張所

信頼された技術から生れた
信頼ある性能品！

株式会社ゼニライト ブイ
池田市豊島南2丁目176－1 TEL（0727）62－7001

# タチウオ情報

## 県、水産試験場

当場の小型漁業調査船「さちかぜ」で、七月上旬に大阪湾、神戸沖、播磨灘鹿ノ瀬南部海域で、曳縄釣（釣針数五〇本、一五～二〇分曳）による調査を実施した結果は下記のとおりである。

### ※大阪湾

調査月日……昭和五十年七月三日、七日。

調査海域……神戸市須磨ノ和田岬三五浬、水深約五〇m内外。

調査結果……別図で示すように七月三日については釣獲尾数六六尾で釣獲率は平均六〇～七〇%で魚体は肛門長で二一・〇～二四・〇cmが主群をなし、大、小のバラツキはなく大型のものでも二七・五cm内外であった。またこれらの体重については一五〇～二〇〇gのものが全体の五五%を占め以下二〇〇～二五〇g、一〇〇～一五〇g、二五〇～三〇〇g、三〇〇～三五〇gの順となっている。これらを昨年同期と比較すると肛門長、体重の各組成は全く昨年と変らない。次に七月七日の調査では釣獲尾数一五二尾で釣獲率は八〇～九〇%で魚体は肛門長二三・〇～二四・〇cmが全体の三五%を占め四日間で約三cm内外の成長がみられ、また体重も二五g程度増加している。

### ※播磨灘

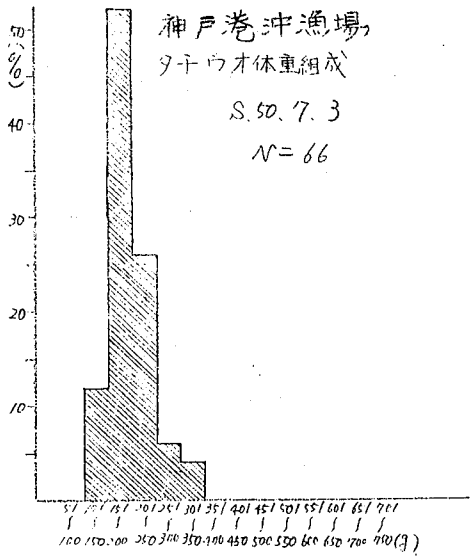
調査月日……昭和五〇年七月八日。

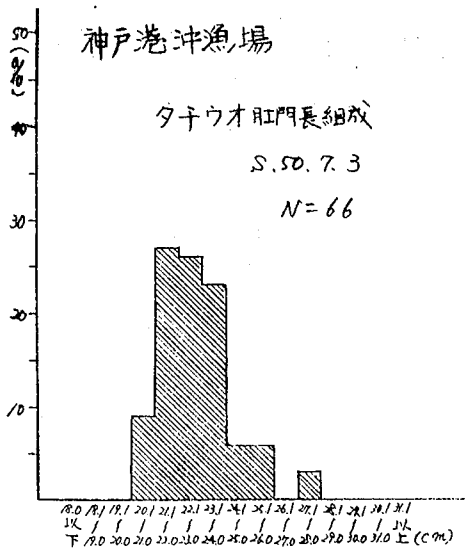
調査場所……鹿ノ瀬灯浮標ノ播磨灘本船航路灯浮標五、六に至る海面。

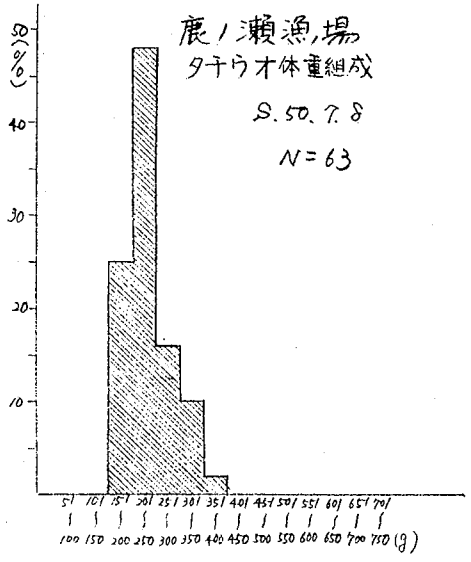
調査結果……別図表で示すとおり釣獲尾数六三尾、釣獲率五〇～六〇%で魚体は肛門長で二四・〇～二六・〇cmが全体の五〇%を占め、神戸沖の一五〇～二〇〇gに比し五〇g程度大型である。

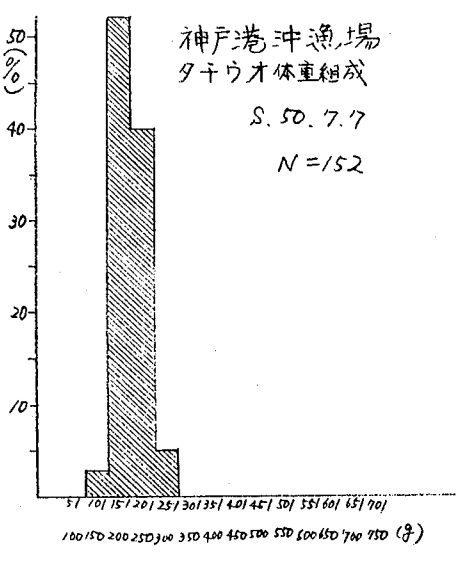
以上が魚体測定の概要であるが本年も昨年に引続き大阪湾、播磨灘には順調な回遊状況を示し前述したとおり成育状況も昨年並で、大阪湾、播磨灘での本格的なタチウオシーズンである八月上旬には二五〇～三〇〇g、盛漁期の九月中旬には中型魚で三五〇～四〇〇g、大型魚では四五〇～五〇〇gとなり本年も昨年並程度の期待が持てそうである。

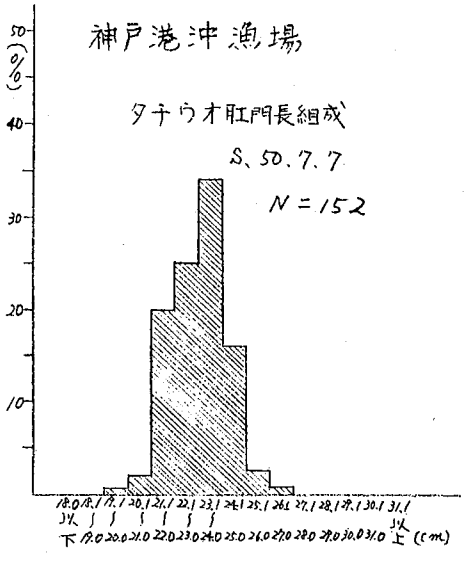
（水試、岩井）

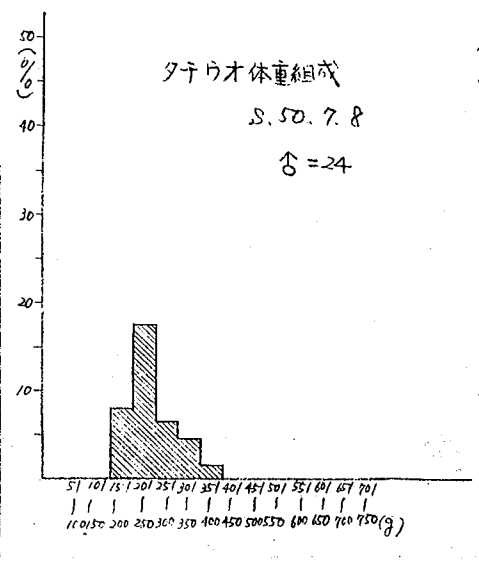


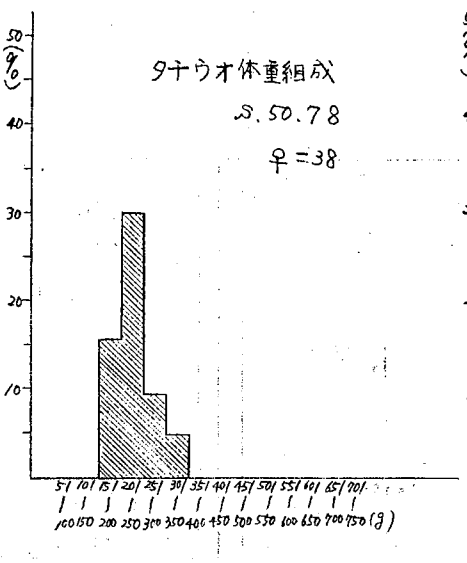



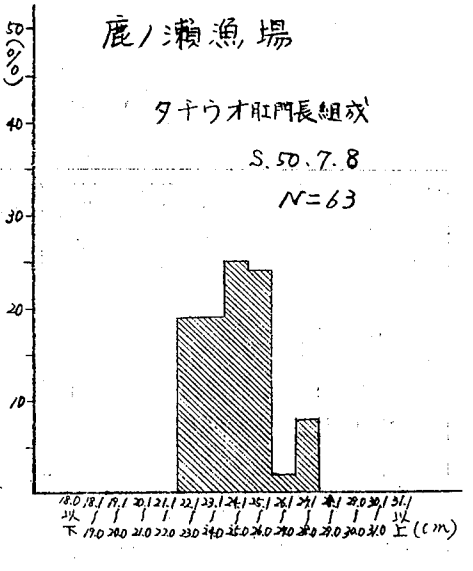



# 沖縄海洋博貯金旅行
## （第一班）に随行して

去る八月十五日午後一時神戸駅に集合した一行は、左記四十三名でした。

神戸市西部漁協　十三名
林崎漁協　二名
東由良町漁協　二名
炬口漁協　二名
志筑浦漁協　一名
生穂漁協　三名
釜口漁協　一名
森漁協　九名
津居山港漁協　四名
香住町漁協　一名
但馬漁船保険組合　一名
員外預金者　一名
信漁連職員　三名

神戸駅に集合しました時は台風五号が沖縄近辺にあり心配のうちに、信漁連の一行が和やかな楽しい旅行ができますよう祈りながら、見送りのかたと別かれをつげて、バスで伊丹空港へと向った次第です。

台風の影響で多少雲はありましたものの、空の上から淡路島、四国を眺めて鹿児島上空を飛び、桜島の噴煙を眼下に見て九州ともわかれをつげ、沖縄上空にやって来ました。大してゆれることもなく那覇空港に夕陽の映える午後六時頃到着いたし、沖縄の土を踏みしめた時は無事に到着したことで安堵いたしました。

空港より早速貸切バスで、沖縄市にある宿舎のコザ観光ホテルへ向う途中感じたことは、右側通行になっているので、車の運転席及び出入口が本土と反対側についています。また基地が市内のよい場所にあり、又じっとしているものもいます。また魚とともにイルカ、潜水夫も泳いでいます。

海の奥の広さ怪奇さが感じられます。

○住友館

大きな七面の映写面に海の生物の生棲状態があらゆる角度から映写される。卵より墓場までの喜怒哀楽の魚の生息状態が観賞でき地上も水中も生存はきびしいものです。

○アクアポリス

（海上都市）

長い橋を人の波に押されて、グリンの冷気だようエスカレーターで、海藻の森に案内され、深海にはいったような雰囲気で、段々と屋上へ、屋上からの周囲の景色はすばらしく。また人工芝生を、しきつめた大屋上はヘリコプターの発着も自由自在屋内には郵便局、区役所もあり、こんご海上空港等に発展することが感じられます。

○三菱未来館

三人がけの動く椅子に乗って深海の旅、海の未来図五年前の万国博での技術をさらに開発した映像技術を感嘆しながら、深海の神秘海底火山の大爆発のおそろしさ、未来の海底都市の映像に魅了してよい体験だと感じました。

その他主要なパビリオンは、クジラ館、日立グループ館、アメリカ館、ソ連館国際一二三号館等、大阪の万国博を細長くしたような会場、第三日目の午後一時半頃まで、思い思い観覧いたし、疲れたところバスに乗りいたし宿舎へ、那覇ホテルでの最後の沖縄の感じは、街もホテルも外人客の多いことです。

今日はいよいよ帰る日、午前八時貸切バスで　守礼之門、釘を一本も使用せず当時の面影どおり、昭和三十四年復元、沖縄県のシンボルとして慕われている。

○泡瀬洞　約八〇〇米の長い間鐘乳石が乱立している洞窟を一列になって、進むうち、黄金の盃、珍々洞、絞り幕等銘をつけられた珍らしい乳白色の世界をくぐりぬけて、雄大な洞窟に感嘆いたしました。

終りに南部戦跡めぐり、ひめゆりの塔、黎明の塔、各県の慰霊塔、沖縄激戦を回顧して、当時は司令官から若い女子学生までが国を愛し、国家のために散っていった数々の物語をきいて心があつくなりました。

以上の見物を終え琉球舞踊、紅型工場を見物して土産品を買い一路空港へと心は早や帰路にたどり、飛行機が少し遅れましたものの予定どおり、全員元気で帰神しました。終りにご参加いただきました皆様の暖かいご理解あるご協力により行ができましたことを心からお礼申しあげます。

「信漁連　竜本」

# 内海漁連プロフィル

昭和二十四年十二月、水産業協同組合法に基づき内海一円の漁業協同組合を会員として設立された内海漁連も、二十六年目を迎え厳しい経済社会の中における七、五〇〇漁業者の生産活動と、生活向上に資するために系統機関としてより一層の充実を期している。

内海漁連の主要業務は、石油、資材購買と、のり共販事業であるが、持にのり養殖は全国屈指の生産県に成長、昨年には綜合のり流通センターを完成して、火入れ、保管業務を開始したあわせて、各出張所等の整備をはじめ、適正な組織づくり、コンピューター、システムの強化に努め、経営基盤、業務体制の拡充ならびに事務能率の向上をはかっている。

又、要所には、出張所十ケ所、ガリソンスタンド七ケ所を設置し、タンクローリー等車両七十台、油槽船二隻給油船七隻バージ船六隻を配して、別表組織図のとおり職員総数一五〇余名をもって業務の円滑な推進にあたっている。

なかでも、神戸本部は、水産会館三館にあり、総務、石油一・二、資材共販の四課で統轄業務を掌り、専務をはじめ三十三名の職員が従事している。

その主要スタッフのプロフィルを紹介しよう。

**塩谷専務理事**（五十一才）

漁連創立以来ただ一人の生えぬきで数々の功績は漁連史と共にあるといわれ、四十六年専務理事に推挙され、ことにのり共販事業にかける情熱はますますさん

**塩田参事**（四十三才）

総務、石油を統轄、実践行動力は抜群、ますます円熟してきたといわれ、漁連のリーダーとして期待は大きい

**林参事**（四十四才）

「のり養殖生産指導」を地道に続け今日の基礎をなした一人として功績は大きい、資材共販を統轄し、共販、火入れ保管と双肩にかかる責任は大きい。

**本間総務課長**（五十七才）

現在は総務課長として、かって二十六年間石油一筋に励み石油事業の基礎をつくる、温厚実直な人柄と達筆はだれもがみとめるところ

**橋本資材共販課長**（四十八才）

広く漁業者一人一人と話し合い、仕入、販売の適正を訴え理解を深めたいと、厳しい局面に対応する姿勢をもつ、真面目な努力の人

**寿石油一課長**（三十六才）

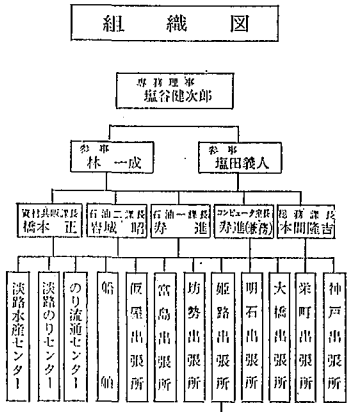
弱冠三十六才で抜擢、入会以来十七年間石油一筋にこつこつ、人あたりがソフトでだれからも好感をもたれ、第一線での活躍が期待

**岩城石油二課長**（四十七才）

石油とのつながりは漁連で一番古く、記憶力抜群アイデアマンでもある、目下石油購買を中心に活躍。

寿　橋本
塩田　岩城
塩谷　塩谷
本間　本間
林　林

## 組織図




## 『クルマエビ放流追跡調査奮戦記』

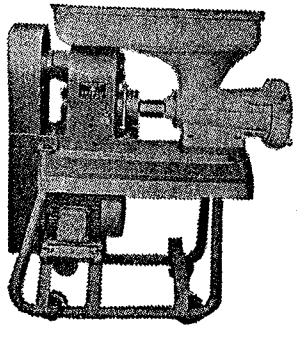
クルマエビの放流が8月を中心にした両々十数名の活躍ぶりを紹介いたし。

ここでは、水産試験場から運ばれた種苗を組合担当者曽根さんの手により、魚のミンチ肉の餌で約二週間中間育成される。全長10㍉を25㍉まで成長させ、潜砂する自分自身を保護できる能力がつくと育成水面に放流される。

漁業者の話だと、「関散期でも車エビの漁ができ生計もやりやすい」とその効果はたいしたもので、統計では昭和四十九年度、漁獲二千七百キログラム、金額約一千二、三百万円と云ったところ。昨年度は餌引きで、調査したが、入りが思わしくなく、今年は、地引き網でやるということで、そこで播磨灘に夕日が落ち、宵の明星が出る頃まで砂風の涼しい砂浜・潮で時を待つ。仕事の話やら彼女の話しやらのなごやかな一息。「もし彼女がいたらなあ」と独身がため息するのを受けた話はよく進むようだ。さて車エビは夜行性のため、銀河系が流れる頃、経験豊かな坂口組合長の指揮する地引き網が敷れ、エッチラ、コッチラのかけ声に合せて引くこと半時余り、岸に引揚げる得物を楽しみに引く綱に力が入る。

中にはかけ声ばかりの人も居る、いよいよ漁獲物の引揚だがここで驚いたのは、なんとハオコゼの多いことだ、ざっと三千尾はいる。この中にねらいの、車エビがいる訳だ。仕訳の最中にウナギやらタコがはい出すこれをつかむためにハオコゼにやられる儀牲者も出る。あれやこれや奮戦の結果、体長5㎝～15㎝の車エビ31尾小アジ、カワハギ、キス、アブラメ、カスゴの小魚が一千尾程それについてきたアオサ一トン程であった。これでは、アオサやハオコゼにまともな調査をはばまれ、正確な結論は出ないようだが、それでもまちがいなく放流車エビはこの浅海白砂の育成水面で立派に成長しているし、最近ここで放流し標識をつけた車エビが由良で揚がったとのニュースもあり相当の放流効果を高めているようだ。関係各氏の今後のご奮闘を祈り終りにしたい。

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで



養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。
又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

（御一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所
神戸市長田区水笠通5番5号
TEL 代表神戸(078)621-1527

# 『海の男を育てよう!!』

## 香住C・C成功裡のうちに終る

### 沿岸7中学から中学三年生40名参加、カッター競技に若さをぶっける

海を恐れず、海の知識を取り入れ、たくましい「海の男」をめざし、今年も但馬沿岸の中学生40名（豊岡化3、港12、竹野3、香住二中2、香住一中6、浜坂6、西浜8）が元気に参加し、焼きつくような炎天下のもと、7月29日から8月2日までの5日間をカッター訓練にうちこんだ。

○……29日‖午前十一時（開講式）午後一～四時（カッター訓練）四ノ五時（水泳）七ー十時（交歓会）

「一生の思い出として、また海を見直し大事にするきっかけに」とか「海への新しい窓が開かれようとしている」等数々の激励の後生徒代表の力強い宣誓で今年の香住C・Cは始まった。まず最初はカッター訓練である。初めて大きなオールを握ったせいかフラフラしている者も少なくなかったが、みんな目は輝いている。水泳で汗を流した後、夜は交歓会で楽しい一時を過ごした。

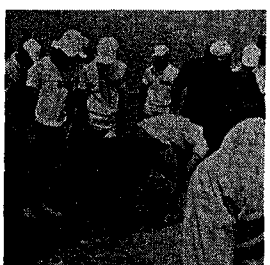
○……30日‖午前六時（起床）八～九時（講義「但馬の漁業」）九ー十一時（手旗・結索訓練）午後一～三時（カッター訓練）三～五時（地びき網実習）七～十時（記録映画「但州丸」の遠洋航海）

昨夜、合宿の最初の夜でもあり、眠れなかった者も朝の講義でウツラウツラしていると後から大声が飛ぶ。講義が済むと金比羅境内で手旗、及び結索の実習・ロープはなかなか結べなくて子らしい声が多かった。

○……1日‖午前九ー十一時（巡視艇海上パトロール）午後一～五時（カッター競技）正午（閉講式）

合宿も三日目を迎え、みんな団体生活にだいぶ慣れてきた感じ。7中学ゴチャまぜの班編成だが、その即席の班長も各班の人員点呼等、動作もキビキビしてきた。香住高実習船「但州丸」「二九二トンで船長より説明を受け、船内見学。この後、体験航海で沖へ出る予定が、錨の故障のため中止。みんな楽しみにしていただけにかなり不満顔。「しんどいカッター訓練をやめて、修理出来るまで待って沖に出ようや。」と現代っ子らしい声が多かった。

○……1日‖午前九ー十一時（巡視艇海上パトロール）午後一～五時（カッター競技）正午（閉講式）



漁業実習「キスづり」）七～十時（漁業よもやま話）

巡視艇「こまゆき」の船を一人づつ持たしてもらい、昨日の不満がけし飛んだようにどきげん。昼からはカッターをこいで沖へ出てキスづり。昨夜自分たちで作った漁具で釣るのだが、中々思うようには釣れず、一匹釣れるごとに歓声が沸いた。

○……2日‖午前八～十一時（カッター競技）正午（反省会）午後一時（閉講式）

最後の日、今までの練習成果と人の和を見るカッター競技。大柄で力の強そうな生徒はいないのに、班長を中心にまとまりのある班が優勝。人の和の重要さを体を通して体験した。又、優勝した班に竹野浜漁協長などより賞品が、なお全員に記念品と終了証書が手渡された。反省会にも「この5日間はしんどかったけど楽しかった。いい経験になった。」との文が多く、予想以上の成果を収め、今年の香住C・Cは終った。

# 野口五郎の大ファンで可愛らしい少女!!

## 女子職員接遇リーダー養成研修

さる八月二十七日～三十日の四日間、六甲山々頂YMCA研修会館に於て、農林中央金庫主催の研修会に参加しました。研修生は近畿ブロック（大阪、兵庫、奈良、和歌山、京都、滋賀）の各農信連、信漁連職員男女二十六名が集まり女子職員が身につけるべき、「来客の応接」「電話の応対」を指導するリーダーの養成を目的とした研修内容であった。はじめに農漁協がおかれている環境の変化とその厳しさの中で職員が果す役割がいかに重要になってきているかと、この研修の目的を教えられ、自分達の職場について、何を知らなければいけないか、知っていたとしてもいかにあいまいか、全体として、自己反省し、レベルの向上を常にはかること。

五、良り良い応接態度は明るい職場からうまれること。

以上五点を強く認識して日頃から自己啓発に意欲をもやし、感受性を強くもち出来るだけメモをすることが重要であることを、次に研修は「電話の応対」について実習を通じて基本的なことを身につけると同時にリーダーとして教えられるように訓練を受けた。職場に帰って、一、暖みのある心漁協の各農信連、信漁連職員男女二十六名が集まり女子職員が身につけるべき、「来客の応接」「電話の応対」を指導するリーダーの養成を目的とした研修内容であった。はじめに農漁協がおかれている環境の変化とその厳しさの中で職員が果す役割がいかに重要になってきているかと、この研修の目的を教えられ、自分達の職場について、何を知らなければいけないか、知っていたとしてもいかにあいまいか、全体として、自己反省し、レベルの向上を常にはかること。

五、良り良い応接態度は明るい職場からうまれること。

以上五点を強く認識して日頃から自己啓発に意欲をもやし、感受性を強くもち出来るだけメモをすることが重要であることを、次に研修は「電話の応対」について実習を通じて基本的なことを身につけると同時にリーダーとして教えられるように訓練を受けた。職場に帰って、一、暖みのある心漁協の各農信連、信漁連職員男女二十六名全員が準備なしの三分間スピーチを行なった中に、奈良県信連管理課新入社員中川智江美さんが「友情」というテーマで次のようなお話しをした。

「まづ私が友情を選んだ理由は、ここにいらっしゃる皆さんと一緒にもう一度「友情」というものを考えてみたかったからです。皆さんおわかりですか、友情って何か？、口で友情と簡単に言えますが、いざとなると又事故をおこしたと連絡があったのです、その時思いました。「あいつはバカだなあ」でも私の方がもっとバカだったと思いました。そしてやっとBさんの言ったことが私にもわかったのです。あの時、冷血人間になって、お金を渡していなかったら事故を二度とおこさなかっただろうと思います。友達ならばこそ時には鬼にならなければならない。だから私はこれから友と呼べる人が出来たらきつい言葉、苦しい試練を与えたり、やさしい言葉を述べたりしていつも相手の気持になって考え今どういう立場におかれているかを判断して、いろいろ友を助けていこうと思います。そうすることもっともっと友情の輪を強く結びつけられることだと確信しています。」

彼女は見るからに初々しい、社ーというより中高生のあどけなさをもった、歌手野口五郎の大ファンという可愛らしい少女です。その彼女が以上のように友情に対し自己をきびしく見つめ反省し一つの確固たる信念をもっている意見を、堂々と述べていました。このスピーチ、内容もしっかりしているのもさることながら、準備なしにしかも大勢の前で与えられた三分間以内に話をマトメ、聞き手をウットリ感動させた説得力に大変感服しました。小生他話しべた、人前でアガリ症の多い中このようにサワヤカに話をされるのは、彼女が日頃からすなおな気持乙女らしい生活を心がけているからだろうと思います。これから職場にあっても今の純心さを持ちつづけて欲しいなあーと考えながら、小生も見習わなければとすなおな、消々しい気分で六甲山を下りてきた次第であります。

（信漁連YM）

# サンマの棒ずし

生活改良普及員　松並ひろ子

「秋高く馬肥ゆ」ことわざの馬は少なくなりましたが、えいでいる主婦にとって秋刀魚など高嶺の花か魚も知れません。今年はさんまは如何でしょうか？魚獲高は少くても、秋刀魚よりか安いとおもいますのでサンマの棒ずしを証してみましょう。

### サンマの棒ずし

さんま二〇ぴき、塩二〇〇g食酢五〇〇cc、ハラン二〇枚、別にすし飯材料米一・八ℓに対して、食酢一八〇cc、食塩四〇g、砂糖一五〇g作り方、サンマの頭部、内臓、中骨をとり、よく水洗いする。腹割りとと背割りの二通りがあるが、背割りの場合腹部の小骨を取るとき破れないように気をつける。

二〇%の塩水に三時間つける。次に腹部の小骨を取り除きながら水洗いをし、ザルにあげて水切りしてから、かげ干しする。これを一晩（一二～三時間）酢につけておき酢を切ってから飯の上にのせる。飯は少し硬目に炊き、すし飯材料の調味料で飯の暖かいうちに混ぜ合わせる。飯をさましてから、サンマ大の棒状に飯をにぎり、この上にサンマを皮を上にしてのせる。これをハランの葉で巻き、隙間のないように、角い容器に詰め合わせて、上部から重石をかけておく。一昼夜経過すれば味がなれてうまくなる。

ハランから取だして、食べやすい大きさに切る。作ってから二～三日が美味しい。一〇月気温二〇～二三度、ぐらいの時が作るにもっともよい。

# 「甘い夢」

## ―新婚3ヶ月奮戦記―

おきあきと

この稿を書いている八月で、早くも結婚後三ケ月が過ぎてしまった。何とか式も挙げたし、小さいながらも家が借りられたし。しかも通勤は、車で十分の便利な所である。春過ぎて初夏になり真夏も半ばを過ぎるとわが家の朝は、スズメおどしの音で始まる。

朝、きまって六時頃から、「ズドン」「ズドン」とアチコチの田から駆ぎだす。戸を開けると、キジがバタバタとビックリして飛び立つ。今日もよい天気である。目覚し時計を見ると、まだ六時過ぎ。もう少し寝ようと、横になると、すぐにウトウト。…

×

しばらくすると、やさしき細君が「ソナタお食事出来ましたよン」炊き立てのご飯の湯気の中で、ミソ汁、タマゴとノリのメニュー、ああ、結婚してよかった。……

朝食のあとは、愛犬シロ君の散歩と車のアイドリング。朝からセル一発で、今日も快調。「気をつけて、行ってらっしゃいませ。」「ウム」。ハンドルさばきも鮮やかにいざ出勤。

午前中、ナンヤカヤと仕事をしているうちに、「アレ、もうお昼か」。

昼食は、またわが家へもどる。ガラガラガラー「お帰りなさいませ」「ウム」。「ネェ、あなたさっき天プラの油でヤケドを……。」「おお、そうか。ヨチョチ」てなアホな事を言いながら、昼食をすませて、また職場へ。

昼からも、はりきって仕事をしていると、チャイムの音。「もう五時半か。」実に時間のたつのが早い。いやホント。

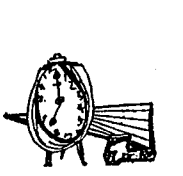
夕方帰宅すると「お帰りなさいませ。暑かったでしょう。おしぼりで汗でも……。」「ウム」「お疲れでしたらお肩でも」「ウム」。「お風呂の用意が」「ウム」。「ンアナタ、お食事の用意が」「ウム」「てな調子で食事も終り、目覚し時計を見ると八時頃。

×

ジリジリジリーン!!けたたましい時計の音で目をさます。「イケネェ。もう八時か」

ソレッ、時間がない、バタバタ。クツ下どこだナニ？メシ炊いてなかった？エーッ。あと何分だズボンは？タドタドタ時間がないぞ。急げ急げ

かくて、トーストをくわえながら、車のアイドリングをそこそこにスタート。

それにしても、今朝のユメは、なんと甘かったか。

現実は、そんなに甘くないな。と、眠たい目をこすりながら、出勤途中の車の中で、今日もボヤくのである。